

「一家転住等」に伴う特例措置について

特例の対象は、「少年種別」とする。

1. 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③に抵触しないものとする。

（1） 特例を受けることができるのは、一家転住等やむをえない理由に限ることとする。

（2） 「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア 親の転勤による一家の転居

イ 親の結婚、離婚による一家の転居

ウ 上記以外に、やむをえない理由による一家の転居

※ 開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③・・・「前回の大会（都道府県大会を含む）に選手および監督で参加した者は、2大会以上の間を置かなければ、異なる都道府県から参加することはできない。」

2. 当事項に該当する選手がいた場合には、栃木県（転居先）競技団体予選会締切日以前に、次の手続きを行なうものとする。

（1） 当該選手は【様式3】により、属していた都道府県体育協会会長および都道府県競技団体会長の承認（印）を得る。

（2） 承認を得た書類【様式3】について、原本を栃木県競技団体へ、コピーを（公財）栃木県スポーツ協会へ提出する。

3. 参加できる都道府県は次のとおりである。

（1） 転居した時点において、次に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加できる。

ア 転居先が属する都道府県の代表がすでに決定している場合

イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

（2） 転居した時点において、次に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加できる。

ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

手続きのフローチャート

